

Ⅱ 調査結果の概況 結果の要旨

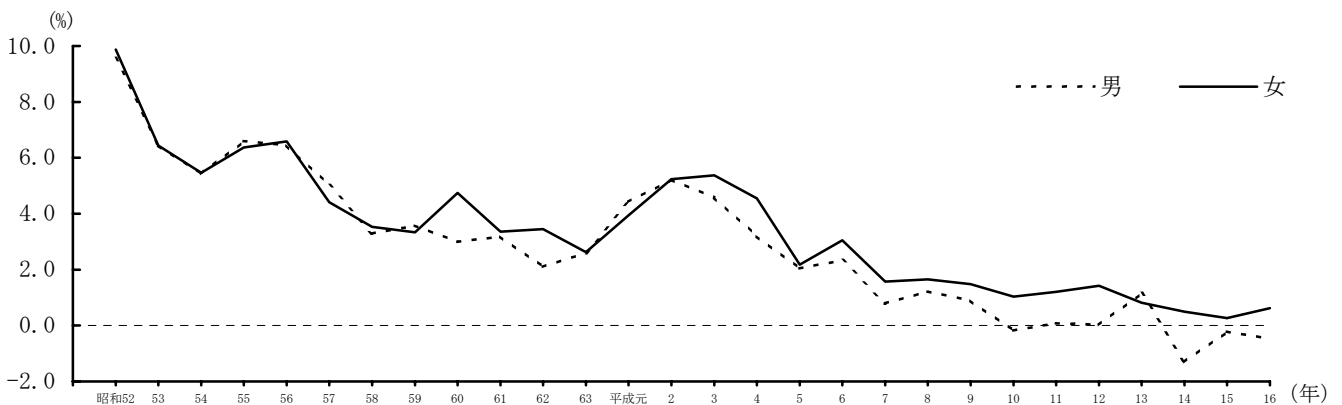
1 一般労働者の賃金

(1) 賃金、対前年比

賃金（6月分の所定内給与額。以下同じ。）は、男女計で301,600円、対前年増減率0.2%減と3年連続の減少となっている。

男女別にみると、男では333,900円、対前年増減率0.5%減、女では225,600円、同0.6%増となっている。（第1図、第1表）

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）

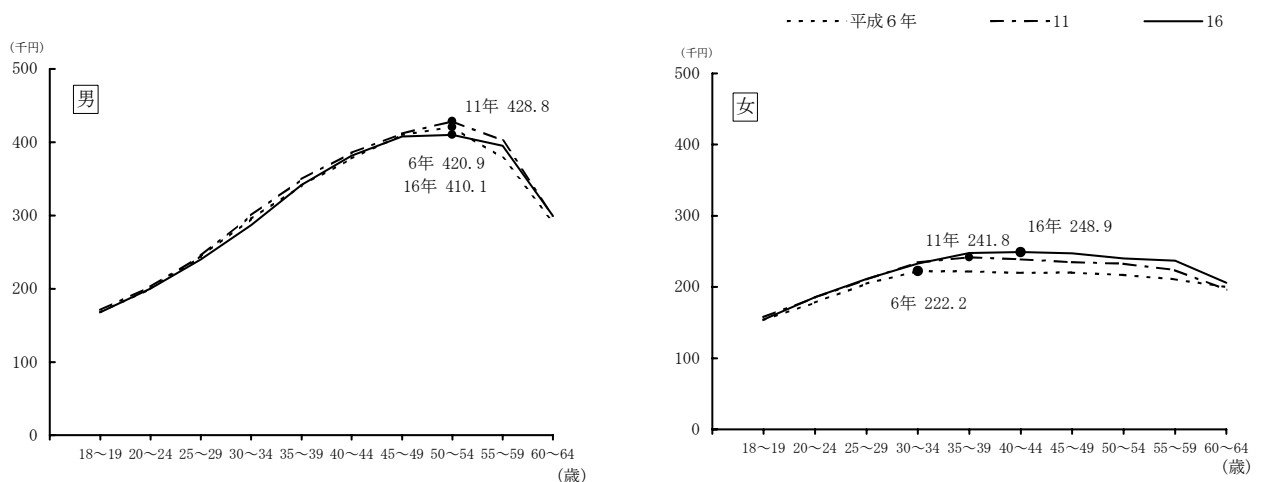


(2) 年齢階級別賃金

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、50～54歳で410,100円となり、女では、40～44歳で248,900円となっている。

年齢階級別に前年と比較すると、男では、60～64歳を除く各階級で下回っており、女では、39歳以下の各階級で下回り、40歳以上の各階級で上回っている。（第2図、第2表）

第2図 性、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）

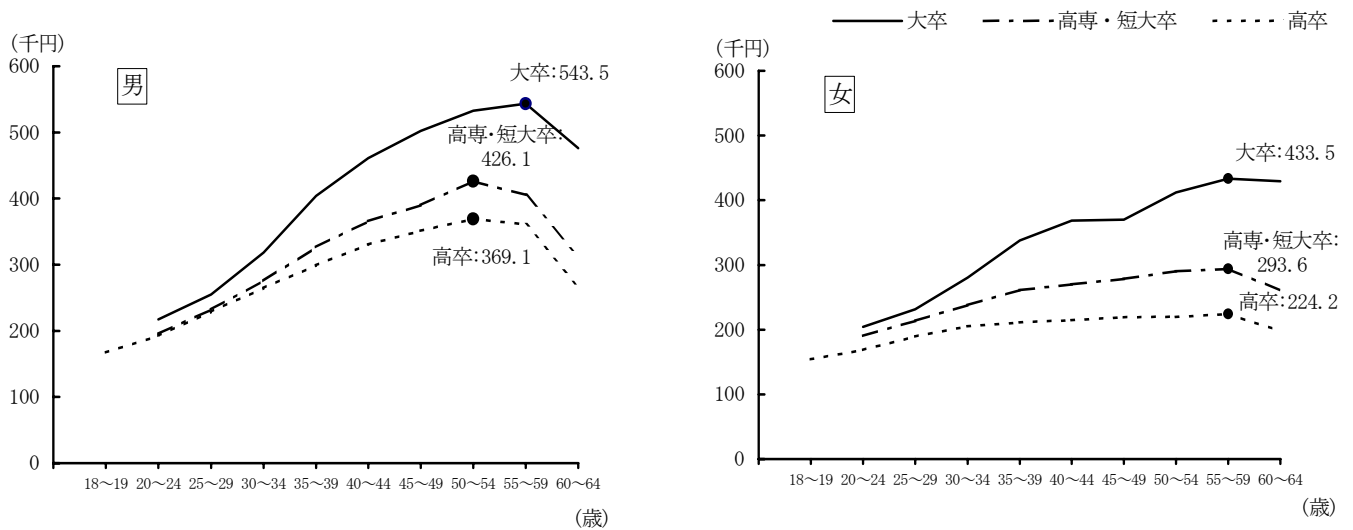


（注）線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

(3) 学歴別賃金

男女各学歴の賃金を前年と比較すると、男では大卒を除き各学歴で下回っており、女では大卒及び高専・短大卒で下回り、高卒で上回っている。賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大卒が55～59歳、高専・短大卒及び高卒が50～54歳、女では、大卒、高専・短大卒及び高卒とも55～59歳となっている。（第3図、第3表、第4表）

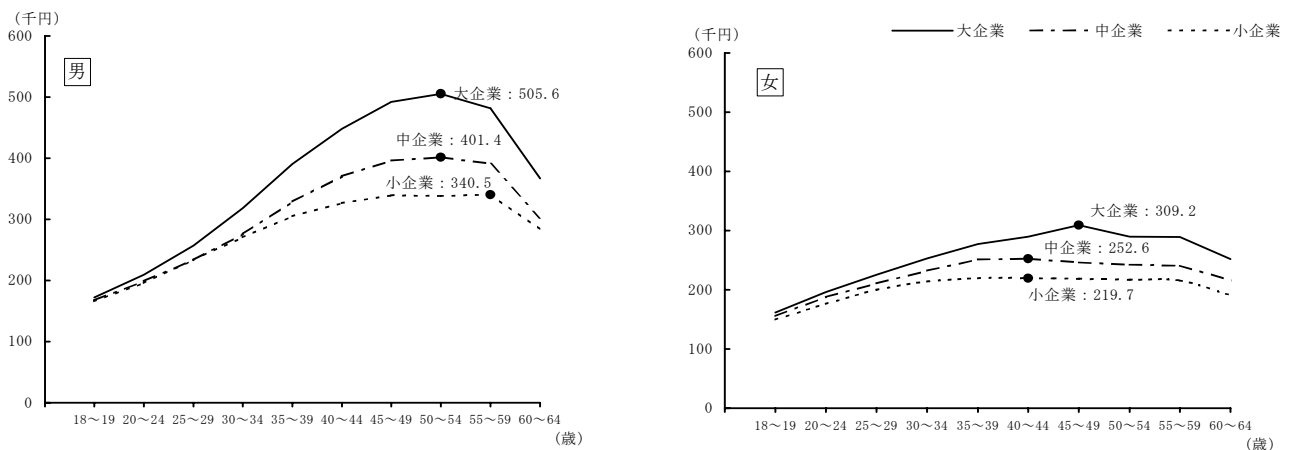
第3図 学歴、性、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）



(4) 企業規模別賃金

男女各規模の賃金を前年と比較すると、男の中企業を除き上回っている。賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大企業及び中企業で50～54歳、小企業で55～59歳、女では、大企業が45～49歳、中企業及び小企業が40～44歳となっている。年齢階級間格差は、中企業、小企業が大企業に比べて男女とも小さくなっている。男女で比べると、各規模とも、女が男に比べて小さい。（第4図、第5表、第6表）

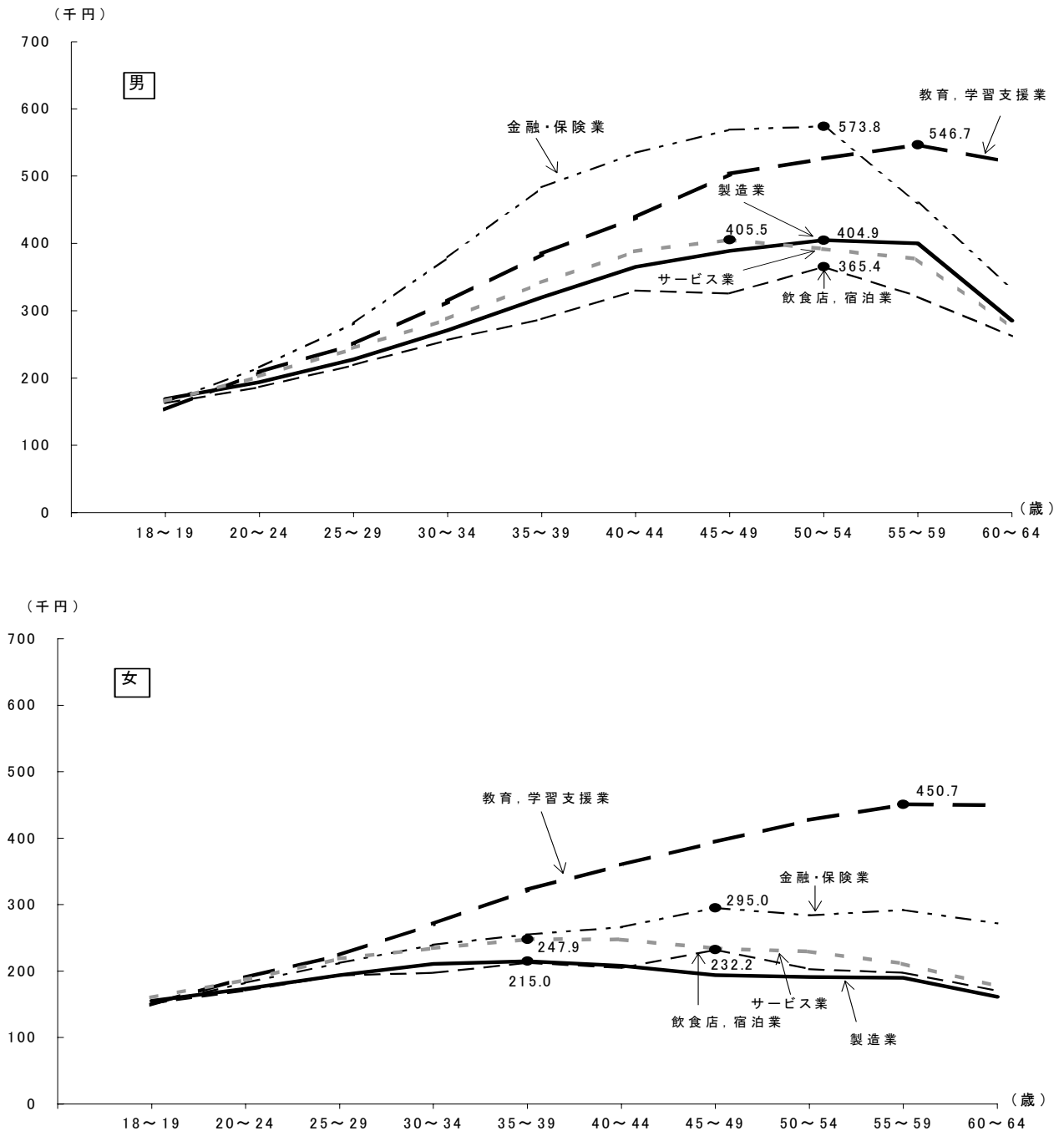
第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金（産業計）



(5) 産業別賃金

男は金融・保険業が高く、飲食店、宿泊業が低くなっており、女は教育・学習支援業が高く、飲食店、宿泊業が低くなっている。賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、製造業、金融・保険業等7産業が50～54歳に集中している。一方、女では産業によって異なり、製造業、サービス業（他に分類されないもの）等3産業が35～39歳、教育、学習支援業等4産業で55～59歳となっている。（第5図、第7表）

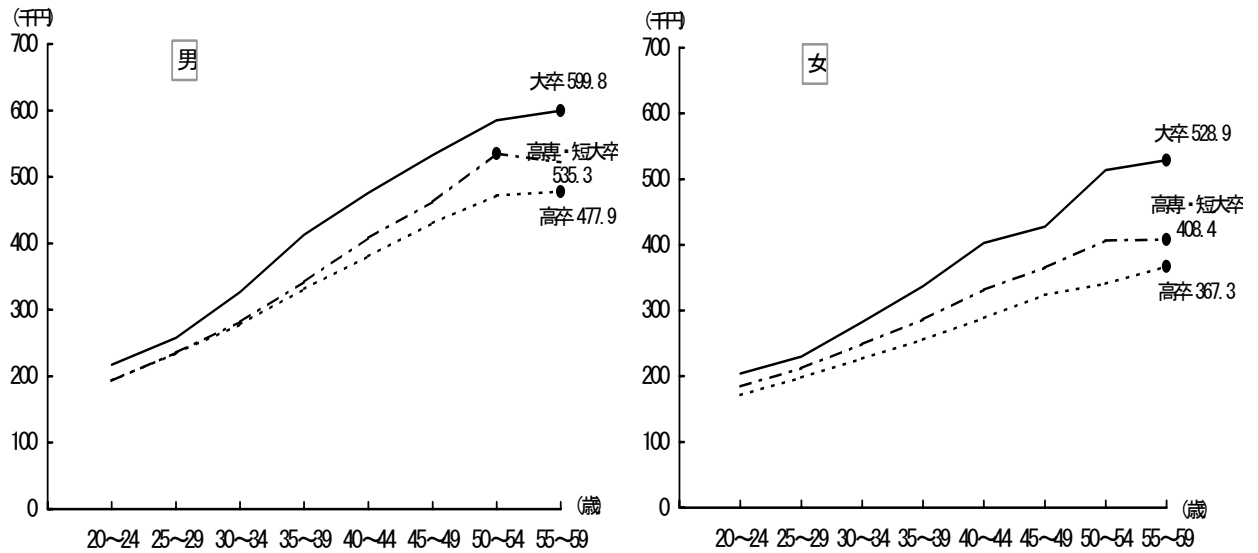
第5図 産業、性、年齢階級別賃金（企業規模計）



(6) 標準労働者の賃金

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男の高専・短大卒を除き男女各学歴とも55～59歳となっている。年齢階級の男女間の賃金格差をみると、おおむね学歴が高くなるほど格差が小さくなっている。（第6図、第11表、第12表、第13表）

第6図 標準労働者の性、学歴、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）

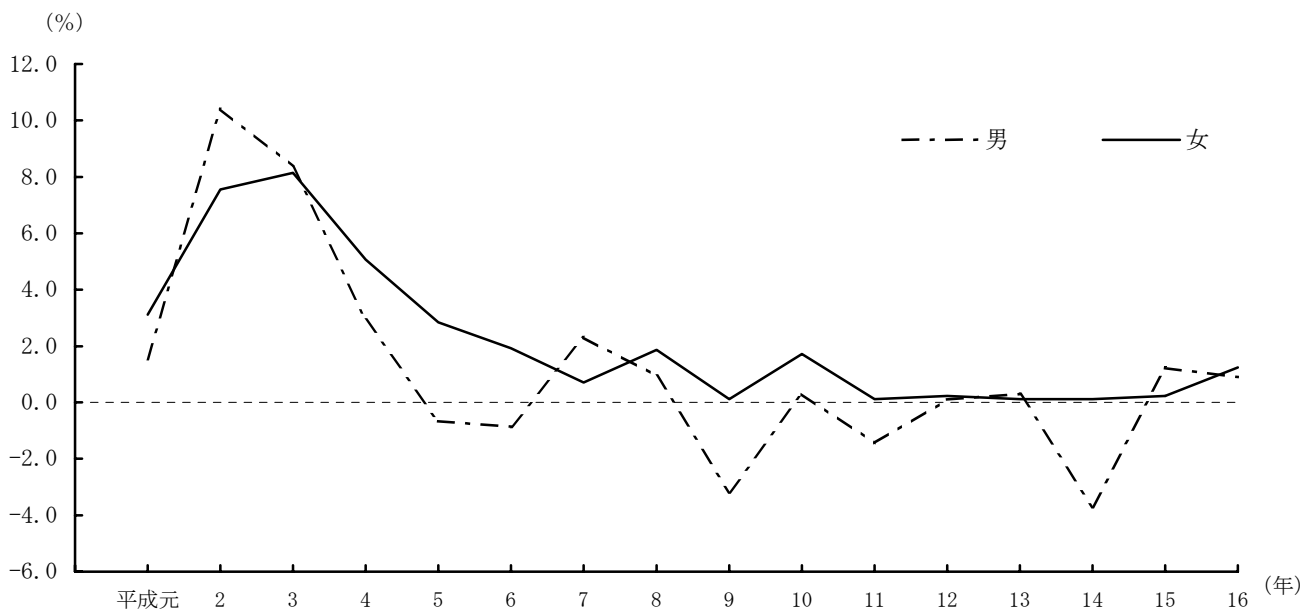


2 パートタイム労働者の賃金

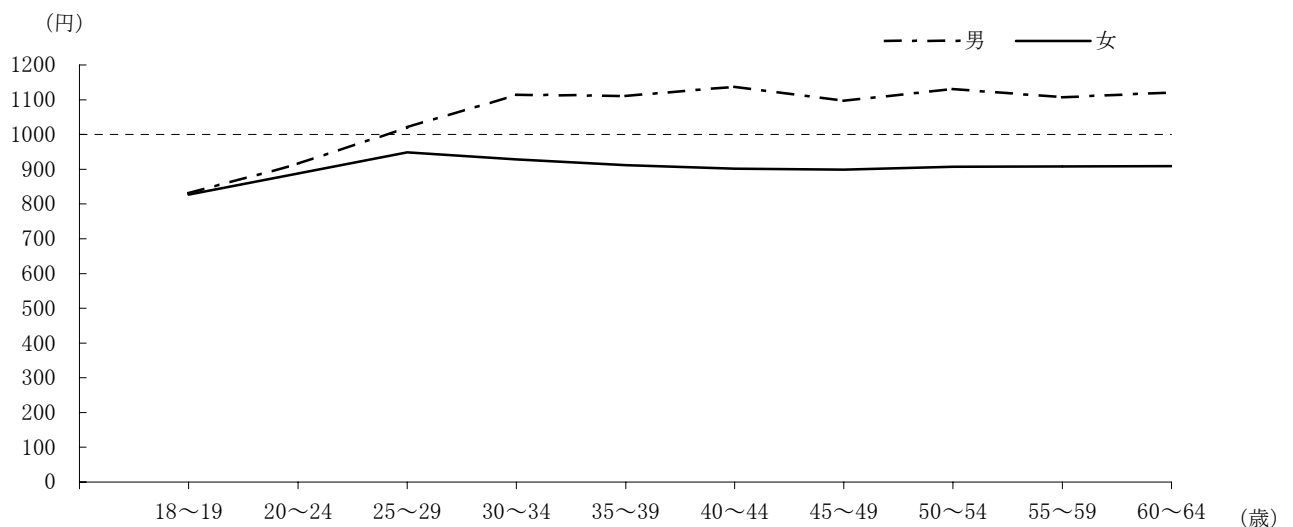
パートタイム労働者の1時間当たり賃金は、男1,012円、女904円、対前年増減率は、男0.9%増、女1.2%増となっている。

賃金を年齢階級別にみると、男は30歳以上で1,100円前後となっている。女は25～29歳で949円と高くなっているが、25歳以上でおおむね900円台となっている。（第7図、第8図、第14表、第15表）

第7図 パートタイム労働者の性別1時間当たり賃金の対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）



第8図 パートタイム労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金（産業計、企業規模計）



結果の概要

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金、対前年比

平成16年の賃金は、男女計で301,600円（平均40.4歳、12.1年勤続）、対前年増減率0.2%減と3年連続の減少となっている。

これを男女別にみると、男では333,900円（平均41.3歳、13.4年勤続）、対前年増減率0.5%減、女では225,600円（同38.3歳、9.0年勤続）、同0.6%増となっている。（第1表、第1図）

第1表 性別賃金、対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）

年	男女計		男		女	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
昭和 51年	131.8	-	151.5	-	89.1	-
52	144.5	9.6	166.0	9.6	97.9	9.9
53	153.9	6.5	176.7	6.4	104.2	6.4
54	162.4	5.5	186.3	5.4	109.9	5.5
55	173.1	6.6	198.6	6.6	116.9	6.4
56	184.1	6.4	211.4	6.4	124.6	6.6
57	193.3	5.0	222.0	5.0	130.1	4.4
58	199.4	3.2	229.3	3.3	134.7	3.5
59	206.5	3.6	237.5	3.6	139.2	3.3
60	213.8	3.5	244.6	3.0	145.8	4.7
61	220.6	3.2	252.4	3.2	150.7	3.4
62	226.2	2.5	257.7	2.1	155.9	3.5
63	231.9	2.5	264.4	2.6	160.0	2.6
平成 元	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
平成 16年 平均年齢(歳)	40.4		41.3		38.3	
勤続年数(年)	12.1		13.4		9.0	

(注) 10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所に関する集計は、昭和51年以降行っている。

(2) 年齢階級別にみた賃金

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、50～54歳が410,100円（平均21.7年勤続）、女では、40～44歳で248,900円（平均10.9年勤続）となっている。

年齢階級別に前年と比較すると、男では、60～64歳を除く各階級で下回っており、女では、39歳以下の各階級で下回り、40歳以上の各階級で上回っている。（第2表、第2図）

第2表 性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

年齢階級 (歳)	男						女					
	賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)		賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)	
	平成6年	11	15	16	平成15年	16	平成6年	11	15	16	平成15年	16
計	327.4	336.7	335.5	333.9	-0.2	-0.5	203.0	217.5	224.2	225.6	0.3	0.6
18～19	167.8	170.9	168.2	167.8	-0.1	-0.2	153.7	157.5	154.9	154.4	-2.1	-0.3
20～24	199.9	202.9	201.6	200.3	1.0	-0.6	178.0	185.4	186.0	185.5	-0.6	-0.3
25～29	244.2	245.2	240.7	240.2	-0.1	-0.2	204.6	210.6	212.2	211.1	-0.3	-0.5
30～34	295.6	300.4	291.0	286.7	-0.5	-1.5	222.2	234.5	234.1	232.6	-0.3	-0.6
35～39	341.0	349.5	344.0	342.1	-0.9	-0.6	221.7	241.8	248.8	247.7	-0.2	-0.4
40～44	378.1	385.7	386.9	381.8	-0.1	-1.3	219.9	238.9	248.1	248.9	0.6	0.3
45～49	410.2	411.9	411.9	407.9	0.2	-1.0	220.2	235.0	241.7	247.0	0.2	2.2
50～54	420.9	428.8	411.9	410.1	-1.7	-0.4	217.0	232.6	237.9	240.2	0.2	1.0
55～59	378.5	402.5	397.4	395.3	-0.3	-0.5	210.7	223.6	233.4	237.1	0.9	1.6
60～64	291.8	300.1	294.6	299.8	-0.6	1.8	200.1	196.0	203.3	206.2	2.5	1.4
平均年齢(歳)	40.0	40.6	41.2	41.3			36.1	37.6	38.1	38.3		
勤続年数(年)	12.8	13.2	13.5	13.4			7.6	8.5	9.0	9.0		

(注) 年齢階級区分の計の数値には、上掲の年齢階級のほか、18歳未満及び65歳以上の者を含む。以下同じ。

(3) 学歴別にみた賃金

学歴別の賃金をみると、男では、大卒が400,300円（平均39.8歳、12.4年勤続）、高専・短大卒が303,200円（同36.8歳、10.6年勤続）、高卒が301,800円（同41.9歳、13.9年勤続）、中卒が286,800円（同50.9歳、18.3年勤続）となっている。

女では、大卒が276,100円（平均32.7歳、6.3年勤続）、高専・短大卒が237,900円（同34.8歳、7.8年勤続）、高卒が205,500円（同40.9歳、10.2年勤続）、中卒が180,800円（同53.3歳、14.1年勤続）となっている。

これを前年と比較すると、男では、大卒を除き各学歴で下回っており、女では、大卒及び高専・短大卒で下回り、高卒及び中卒で上回っている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大卒及び中卒が55～59歳、高専・短大卒及び高卒が50～54歳、女では、大卒、高専・短大卒及び高卒が55～59歳、中卒が50～54歳となっている。（第3表、第3図）

学歴別に年齢階級間の賃金格差（20～24歳の賃金＝100）をみると、男では大卒は55～59歳で250、高専・短大卒及び高卒は50～54歳でそれぞれ218、192となっている。女では大卒は50歳以上の年齢階級で200を超えているが、それ以外の学歴では年齢階級間の格差が小さい。（第4表）

第3表 学歴、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

性、年齢階級 (歳)	大卒			高専・短大卒			高卒			中卒			
	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	
	平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16		
男	計	399.8	400.3	0.1	305.8	303.2	-0.9	305.1	301.8	-1.1	290.1	286.8	-1.1
	18~19	-	-	-	-	-	-	168.7	167.4	-0.8	161.7	175.2	8.3
	20~24	220.5	217.4	-1.4	194.8	195.3	0.3	193.5	192.4	-0.6	204.1	200.8	-1.6
	25~29	256.8	255.2	-0.6	232.2	232.2	0.0	229.2	229.1	-0.0	228.9	230.4	0.7
	30~34	323.1	318.5	-1.4	283.1	275.7	-2.6	267.2	264.9	-0.9	255.7	258.3	1.0
	35~39	404.2	403.9	-0.1	328.5	326.6	-0.6	301.6	299.0	-0.9	274.7	275.9	0.4
	40~44	463.8	461.0	-0.6	378.8	365.6	-3.5	332.6	330.3	-0.7	285.4	282.1	-1.2
	45~49	507.1	502.3	-0.9	406.2	390.2	-3.9	358.6	351.5	-2.0	306.0	304.9	-0.4
	50~54	540.5	532.7	-1.4	430.1	426.1	-0.9	375.3	369.1	-1.7	317.4	315.9	-0.5
	55~59	548.2	543.5	-0.9	422.1	405.4	-4.0	370.4	361.2	-2.5	322.4	319.1	-1.0
	60~64	460.6	476.1	3.4	295.8	313.7	6.1	269.0	267.8	-0.4	242.2	238.8	-1.4
	平均年齢(歳)	39.5	39.8		36.4	36.8		41.6	41.9		50.9	50.9	
	勤続年数(年)	12.3	12.4		10.6	10.6		14.1	13.9		18.6	18.3	
女	計	277.6	276.1	-0.5	238.1	237.9	-0.1	205.2	205.5	0.1	180.3	180.8	0.3
	18~19	-	-	-	-	-	-	155.1	154.5	-0.4	149.9	147.7	-1.5
	20~24	204.3	204.3	0.0	190.3	190.2	-0.1	171.5	168.8	-1.6	157.5	151.7	-3.7
	25~29	236.8	231.5	-2.2	215.0	213.5	-0.7	190.1	189.6	-0.3	162.1	162.8	0.4
	30~34	291.4	280.6	-3.7	240.2	238.0	-0.9	206.4	205.3	-0.5	169.9	171.5	0.9
	35~39	342.6	338.0	-1.3	267.7	261.0	-2.5	211.8	211.4	-0.2	183.1	173.3	-5.4
	40~44	377.1	368.3	-2.3	276.3	270.2	-2.2	213.4	214.7	0.6	175.1	177.1	1.1
	45~49	378.7	370.2	-2.2	282.8	278.4	-1.6	215.0	219.3	2.0	181.8	183.3	0.8
	50~54	401.3	412.1	2.7	293.8	290.2	-1.2	222.3	219.4	-1.3	190.8	192.8	1.0
	55~59	438.0	433.5	-1.0	298.6	293.6	-1.7	223.3	224.2	0.4	188.2	191.3	1.6
	60~64	425.4	429.3	0.9	275.2	260.6	-5.3	199.4	197.9	-0.8	162.1	163.0	0.6
	平均年齢(歳)	32.2	32.7		34.0	34.8		40.7	40.9		53.1	53.3	
	勤続年数(年)	6.1	6.3		7.6	7.8		10.0	10.2		14.1	14.1	

第4表 学歴、性別年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

(20~24歳=100)

性、年齢階級 (歳)	大卒				高専・短大卒				高卒				
	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	
男	計	183	184	181	184	150	153	157	155	157	158	158	157
	18~19	-	-	-	-	-	-	-	-	85	86	87	87
	20~24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25~29	119	119	116	117	123	120	119	119	121	120	118	119
	30~34	152	153	147	147	151	147	145	141	140	140	138	138
	35~39	184	186	183	186	175	173	169	167	159	158	156	155
	40~44	219	212	210	212	206	192	194	187	178	174	172	172
	45~49	253	242	230	231	227	221	209	200	196	190	185	183
	50~54	282	269	245	245	238	225	221	218	209	203	194	192
	55~59	277	271	249	250	224	219	217	208	189	195	191	188
	60~64	216	215	209	219	167	163	152	161	143	141	139	139
女	計	128	132	136	135	117	122	125	125	116	118	120	122
	18~19	-	-	-	-	-	-	-	-	90	90	90	92
	20~24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25~29	115	114	116	113	115	114	113	112	112	112	111	112
	30~34	137	142	143	137	129	130	126	125	119	120	120	122
	35~39	157	160	168	165	136	142	141	137	121	123	123	125
	40~44	174	177	185	180	151	148	145	142	124	122	124	127
	45~49	181	184	185	181	153	154	149	146	128	128	125	130
	50~54	211	206	196	202	159	158	154	153	132	129	130	130
	55~59	209	224	214	212	177	151	157	154	129	129	130	133
	60~64	228	254	208	210	170	124	145	137	128	115	116	117

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別の賃金をみると、男では、大企業で395,000円（平均40.8歳、16.8年勤続）、対前年増減率0.0%増、中企業で323,300円（同40.8歳、13.0年勤続）、同0.9%減、小企業で294,600円（同42.3歳、11.1年勤続）、同0.6%増となっており、大企業では前年とおおむね同水準、中企業では前年を下回り、小企業では前年を上回っている。

女では、大企業で254,200円（平均36.4歳、10.3年勤続）、対前年増減率0.6%増、中企業で227,100円（同37.9歳、8.7年勤続）、同0.6%増、小企業で206,500円（同39.9歳、8.6年勤続）、同1.4%増となっており、各企業規模とも前年を上回っている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大企業及び中企業が50～54歳で、それぞれ505,600円、401,400円、小企業が55～59歳で340,500円となっている。女では、大企業が45～49歳で309,200円、中企業及び小企業が40～44歳でそれぞれ252,600円、219,700円となっている。年齢階級間格差は、中企業、小企業が大企業に比べて男女とも小さくなっている。男女で比べると、各規模とも、女が男に比べて小さい。（第5表、第4図）

企業規模間の賃金格差（大企業の賃金＝100）をみると、男では中企業で82、小企業で75、女では中企業で89、小企業で81となっている（第6表）。

第5表 企業規模、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計）

性、年齢階級 (歳)	大企業			中企業			小企業			
	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	
	平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16		
男	計	394.9	395.0	0.0	326.2	323.3	-0.9	292.9	294.6	0.6
	18～19	173.1	172.4	-0.4	167.2	167.4	0.1	166.7	165.9	-0.5
	20～24	211.4	209.3	-1.0	200.4	198.7	-0.8	196.1	195.9	-0.1
	25～29	258.3	257.0	-0.5	236.6	233.6	-1.3	231.0	233.8	1.2
	30～34	322.2	318.2	-1.2	281.2	276.1	-1.8	271.3	270.9	-0.1
	35～39	390.4	390.6	0.1	333.6	329.4	-1.3	305.1	305.1	0.0
	40～44	449.3	448.2	-0.2	375.7	370.6	-1.4	329.3	326.6	-0.8
	45～49	490.3	492.2	0.4	402.3	396.3	-1.5	340.7	339.5	-0.4
	50～54	499.1	505.6	1.3	404.4	401.4	-0.7	338.4	338.1	-0.1
	55～59	475.9	481.6	1.2	399.1	391.1	-2.0	335.4	340.5	1.5
	60～64	361.4	367.0	1.5	304.5	302.9	-0.5	275.5	283.8	3.0
平均年齢(歳)	40.8	40.8		40.5	40.8		42.2	42.3		
勤続年数(年)	17.0	16.8		13.1	13.0		11.0	11.1		
女	計	252.6	254.2	0.6	225.7	227.1	0.6	203.6	206.5	1.4
	18～19	160.8	161.6	0.5	156.7	155.9	-0.5	149.7	149.8	0.1
	20～24	197.5	196.1	-0.7	187.2	187.9	0.4	176.0	176.1	0.1
	25～29	227.6	225.5	-0.9	212.0	210.7	-0.6	198.1	199.8	0.9
	30～34	252.0	252.7	0.3	236.8	232.5	-1.8	210.5	214.0	1.7
	35～39	277.6	277.5	-0.0	253.4	251.1	-0.9	218.8	219.6	0.4
	40～44	290.7	289.5	-0.4	252.4	252.6	0.1	217.0	219.7	1.2
	45～49	297.7	309.2	3.9	247.4	246.3	-0.4	209.0	218.5	4.5
	50～54	295.5	290.1	-1.8	238.6	242.3	1.6	213.2	216.9	1.7
	55～59	285.5	289.1	1.3	234.7	240.9	2.6	212.8	215.7	1.4
	60～64	256.5	251.8	-1.8	204.8	215.7	5.3	188.7	190.8	1.1
平均年齢(歳)	36.0	36.4		37.6	37.9		40.2	39.9		
勤続年数(年)	10.3	10.3		8.5	8.7		8.6	8.6		

(注) 常用労働者1,000人以上を大企業、100～999人を中企業、10～99人を小企業としている。

第6表 性、年齢階級別企業規模間格差（産業計）

（大企業=100）

年齢階級 (歳)	男								女							
	中 企 業				小 企 業				中 企 業				小 企 業			
	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16
計	86	84	83	82	80	77	74	75	88	90	89	89	82	82	81	81
18～19	98	100	97	97	99	98	96	96	98	99	97	96	93	94	93	93
20～24	98	96	95	95	102	97	93	94	97	96	95	96	93	91	89	90
25～29	95	93	92	91	98	94	89	91	95	95	93	93	88	90	87	89
30～34	91	89	87	87	92	88	84	85	91	94	94	92	84	83	84	85
35～39	87	88	85	84	83	81	78	78	84	89	91	90	74	78	79	79
40～44	86	84	84	83	77	75	73	73	78	85	87	87	70	72	75	76
45～49	84	83	82	81	72	70	69	69	76	81	83	80	67	71	70	71
50～54	83	80	81	79	69	68	68	67	72	82	81	84	66	74	72	75
55～59	84	82	84	81	71	71	70	71	72	81	82	83	66	75	75	75
60～64	92	81	84	83	85	78	76	77	71	87	80	86	64	79	74	76

(5) 産業別にみた賃金

産業別の賃金をみると、男は金融・保険業（462,900円）が高く、飲食店、宿泊業（275,600円）、運輸業（278,700円）が低くなっている。

女は教育、学習支援業（296,600円）が高く、飲食店、宿泊業（192,400円）、製造業（194,100円）が低くなっているが、男と比較すると、産業間格差は小さい。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、製造業、金融・保険業等7産業が50～54歳に集中しており、情報通信業、教育、学習支援業等4産業が55～59歳、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）等3産業が45～49歳となっている。

女では、産業によって異なり、製造業、サービス業（他に分類されないもの）等3産業が35～39歳、卸売・小売業、不動産業が40～44歳、金融・保険業、飲食店、宿泊業等4産業が45～49歳、建設業が50～54歳、情報通信業、教育、学習支援業等4産業で55～59歳となっている。（第7表、第5図）

第7表 産業、性、年齢階級別賃金（企業規模計）

（単位：千円）

性、産業		年 齢 階 級											平均 年齢 (歳)	勤続 年数 (年)
		年齢計	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳		
男	産 業 計	333.9	167.8	200.3	240.2	286.7	342.1	381.8	407.9	410.1	395.3	299.8	41.3	13.4
	鉱 業	305.8	160.8	193.9	236.9	264.3	299.8	327.6	331.7	334.8	328.4	289.0	46.5	14.1
	建 設 業	333.5	172.1	205.1	246.4	294.6	337.8	364.2	385.6	393.6	397.5	316.0	42.9	13.1
	製 造 業	323.1	168.7	193.9	228.0	271.3	319.6	365.2	389.1	404.9	400.5	285.3	41.1	15.5
	電気・ガス・熱供給・水道業	411.9	166.4	209.1	266.2	330.0	407.8	474.8	539.1	587.4	550.0	317.5	39.1	18.5
	情 報 通 信 業	375.5	178.4	217.8	254.6	313.7	391.4	460.2	541.0	594.4	606.8	460.5	36.6	11.5
	運 輸 業	278.7	171.3	206.7	238.7	263.3	287.2	303.9	311.3	304.0	290.4	212.5	44.4	12.3
	卸 売 ・ 小 売 業	341.2	163.2	201.9	244.5	289.1	350.9	385.7	417.7	431.5	428.9	342.8	40.0	13.4
	金 融 ・ 保 険 業	462.9	163.6	215.8	281.6	379.2	483.5	534.5	569.0	573.8	460.6	333.4	41.8	16.1
	不 動 産 業	384.8	162.7	222.2	262.8	344.8	410.4	472.5	501.2	530.8	429.3	262.0	43.2	10.9
	飲 食 店 , 宿 泊 業	275.6	162.7	186.7	219.3	256.6	287.8	330.0	325.6	365.4	321.3	261.9	38.9	9.0
	医 療 , 福 祉	371.4	150.0	187.9	234.3	298.8	402.8	448.8	524.5	507.9	514.1	450.8	39.2	9.1
	教 育 , 学 習 支 援 業	440.5	153.1	208.8	250.4	314.0	384.4	438.7	503.5	526.1	546.7	519.9	46.3	14.2
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	307.3	151.9	178.6	204.6	240.7	275.1	316.9	358.3	392.2	405.2	271.9	42.2	17.9
サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	321.1	165.8	202.6	244.1	287.5	341.9	388.3	405.5	391.7	376.7	273.9	41.4	10.5	
女	産 業 計	225.6	154.4	185.5	211.1	232.6	247.7	248.9	247.0	240.2	237.1	206.2	38.3	9.0
	鉱 業	205.5	140.0	170.2	197.6	204.4	218.2	216.4	199.7	202.2	213.5	213.5	44.9	12.3
	建 設 業	212.9	154.8	178.3	196.7	210.1	223.1	219.0	223.1	244.3	236.4	189.5	39.5	10.0
	製 造 業	194.1	155.5	173.2	193.8	210.8	215.0	207.9	193.6	191.1	190.1	161.1	40.9	11.2
	電気・ガス・熱供給・水道業	289.3	161.3	197.6	238.3	282.6	335.1	350.6	372.3	354.6	300.9	222.2	35.7	13.4
	情 報 通 信 業	269.3	158.2	205.1	236.0	265.7	304.2	345.2	397.8	388.9	494.0	212.9	32.2	7.7
	運 輸 業	216.9	151.5	175.9	203.4	233.2	240.0	241.1	242.1	230.4	214.0	182.8	38.0	9.0
	卸 売 ・ 小 売 業	222.4	153.0	182.9	205.8	232.4	249.6	259.0	247.9	239.9	245.9	196.7	36.0	9.0
	金 融 ・ 保 険 業	246.7	150.0	182.2	212.1	239.3	255.1	266.0	295.0	283.9	292.1	271.7	38.5	10.3
	不 動 産 業	247.8	163.7	196.3	232.5	251.3	275.8	323.5	282.9	251.7	255.1	179.3	36.8	7.2
	飲 食 店 , 宿 泊 業	192.4	150.9	170.7	193.5	197.1	212.6	204.4	232.2	202.7	197.5	170.2	39.7	7.4
	医 療 , 福 祉	241.6	154.0	194.2	218.3	243.5	258.7	259.0	263.8	269.3	270.2	251.0	38.3	7.8
	教 育 , 学 習 支 援 業	296.6	149.1	190.2	223.8	271.1	322.2	359.7	394.0	427.5	450.7	449.4	36.3	9.5
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	215.9	148.8	169.7	188.7	209.7	219.2	225.6	241.9	259.1	267.5	177.6	38.0	12.5
サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	220.8	160.3	186.7	218.8	234.3	247.9	247.5	234.0	229.5	210.9	177.3	37.9	6.9	

(6) 労働者の種類別にみた賃金

製造業について、労働者の種類別の賃金をみると、男では、生産労働者が275,200円（平均40.2歳、14.3年勤続）、対前年増減率1.4%減、管理・事務・技術労働者が384,500円（同42.3歳、17.0年勤続）、同1.1%減となっている。

女では、生産労働者が170,900円（平均43.7歳、11.4年勤続）、対前年増減率1.1%減、管理・事務・技術労働者が226,800円（同37.0歳、11.0年勤続）、同0.7%減となっている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、生産労働者が50～54歳で336,900円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で485,700円となっている。

女では、生産労働者が30～34歳で186,100円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で254,800円となっている。（第8表）

第8表 製造業の性、労働者の種類、年齢階級別賃金及び対前年増減率（企業規模計）

年齢階級 (歳)	男						女					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)
	平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16	
計	279.1	275.2	-1.4	388.6	384.5	-1.1	172.8	170.9	-1.1	228.3	226.8	-0.7
18～19	169.5	168.8	-0.4	168.5	166.7	-1.1	152.8	154.0	0.8	159.5	159.0	-0.3
20～24	191.6	190.6	-0.5	207.6	205.2	-1.2	163.8	164.1	0.2	184.0	182.8	-0.7
25～29	220.9	218.6	-1.0	247.2	243.9	-1.3	178.1	175.5	-1.5	207.3	205.4	-0.9
30～34	253.5	253.4	-0.0	302.7	294.8	-2.6	184.7	186.1	0.8	230.0	227.4	-1.1
35～39	285.5	281.4	-1.4	363.5	357.4	-1.7	183.9	183.9	0.0	251.6	245.0	-2.6
40～44	307.7	305.6	-0.7	423.0	418.6	-1.0	175.3	173.2	-1.2	258.4	253.1	-2.1
45～49	327.2	321.9	-1.6	464.4	455.6	-1.9	169.6	167.2	-1.4	247.0	250.0	1.2
50～54	343.0	336.9	-1.8	489.6	483.5	-1.2	175.1	170.3	-2.7	255.3	252.2	-1.2
55～59	337.4	331.3	-1.8	496.4	485.7	-2.2	174.3	171.8	-1.4	255.0	254.8	-0.1
60～64	245.7	241.8	-1.6	374.6	368.1	-1.7	146.7	146.6	-0.1	219.6	221.2	0.7
平均年齢(歳)	40.3	40.2		42.0	42.3		43.6	43.7		36.7	37.0	
勤続年数(年)	14.6	14.3		16.9	17.0		11.6	11.4		10.9	11.0	

(7) 職階別にみた賃金

企業全体の常用労働者数が100人以上の企業について、職階別の賃金をみると、男では、部長が633,300円（平均52.0歳）、対前年増減率0.8%増、課長が515,100円（同47.0歳）、同0.8%増、係長が388,700円（同42.3歳）、同1.5%減となっている。

女では、課長が428,800円（平均47.4歳）、対前年増減率2.1%減、係長が345,600円（同43.4歳）、同0.2%増となっている。（第9表）

第9表 職階、性別賃金、賃金格差及び平均年齢（産業計、企業規模100人以上）

職階、性	賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)		賃 金 格 差 (非職階者20~24歳=100)				平均年齢 (歳)				
	平成6年	11	15	16	平成15年	16	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	
男	部 長	624.1	633.3	628.5	633.3	-1.1	0.8	315	312	307	312	51.2	51.9	51.8	52.0
	課 長	504.6	511.9	510.9	515.1	-0.9	0.8	255	252	249	254	46.2	46.9	47.2	47.0
	係 長	385.2	394.0	394.8	388.7	-0.1	-1.5	195	194	193	191	41.8	42.5	42.6	42.3
	非職階者 20~24歳	198.0	203.2	204.8	203.0	1.3	-0.9	100	100	100	100				
女	部 長	* 535.9	* 572.6	* 592.0	* 584.9	* 296	* 302	* 310	* 305	* 51.0	* 52.1	* 50.9	* 50.9
	課 長	401.1	423.4	438.0	428.8	1.0	-2.1	222	223	229	224	47.1	47.4	47.1	47.4
	係 長	328.4	328.4	344.8	345.6	-2.5	0.2	181	173	180	180	43.4	43.4	43.5	43.4
	非職階者 20~24歳	181.0	189.9	191.1	191.5	-0.7	0.2	100	100	100	100				

(注) 非職階者とは、職階者（部長、課長、係長等）以外の者をいう。

(8) 賃金の分布

賃金階級別に労働者の分布をみると、男では、20万円未満が13.8%（前年13.1%）、20万円台が36.4%（同36.2%）、30万円台が24.7%（同25.2%）、40万円台が13.3%（同13.4%）、女では、20万円未満が45.8%（同46.4%）、20万円台が39.6%（同39.4%）となっている（第10表）。

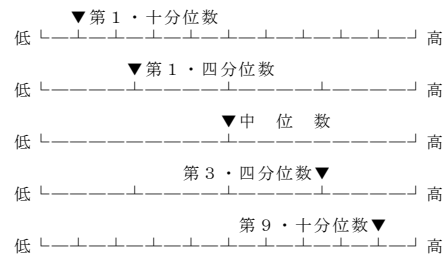
学歴別に賃金の散らばりをみると、男女とも大卒が最も大きくなっている（第9図）。

第10表 性、賃金階級、年齢階級別労働者数割合（産業計、企業規模計）

賃金階級	男									
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 119.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
120.0～139.9	0.7	0.9	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.7	1.0	3.7
140.0～159.9	1.1	2.6	0.9	0.6	0.4	0.5	0.6	0.9	1.2	4.0
160.0～179.9	2.2	7.8	2.3	1.1	0.7	0.9	0.9	1.3	1.9	7.0
180.0～199.9	4.0	19.2	6.2	2.3	1.5	1.2	1.2	1.9	2.4	7.7
200.0～219.9	5.8	23.9	12.2	4.5	2.4	1.9	2.1	2.4	3.1	8.3
220.0～239.9	7.4	20.3	17.4	8.3	3.8	2.9	2.9	3.2	4.1	9.8
240.0～259.9	7.7	12.3	18.0	10.9	5.7	3.8	3.3	3.8	4.2	7.6
260.0～279.9	7.7	6.2	14.4	13.2	7.4	4.8	4.3	4.2	4.8	7.2
280.0～299.9	7.1	3.0	10.3	12.7	8.7	5.7	4.4	4.4	4.8	5.2
300.0～319.9	6.5	1.7	6.4	11.0	8.8	6.6	5.3	4.5	4.8	4.8
320.0～359.9	6.2	1.0	4.3	9.4	9.1	7.4	5.4	5.0	5.0	5.2
360.0～399.9	10.2	0.7	3.7	12.1	16.1	13.9	12.0	10.2	10.3	6.3
400.0～449.9	8.3	0.2	1.7	6.3	12.2	13.2	11.8	11.0	9.7	4.3
450.0～499.9	7.9	0.0	0.8	3.6	10.0	12.6	13.5	12.1	11.1	4.5
500.0～599.9	5.4	0.0	0.4	1.6	5.2	8.5	9.9	9.8	9.0	2.6
600.0～699.9	6.4	0.1	0.4	1.3	4.8	9.6	11.9	12.9	11.6	4.5
700.0～799.9	2.8	-	0.2	0.3	1.5	3.4	5.4	6.2	5.7	3.3
800.0～899.9	1.4	-	0.0	0.3	0.7	1.3	2.5	3.2	2.9	1.8
900.0～	0.6	-	0.0	0.1	0.4	0.7	1.1	1.2	1.3	1.0
平均値 (千円)	0.7	-	0.0	0.1	0.4	0.8	1.3	1.3	1.3	1.3
第1・十分位数 (千円)	333.9	200.3	240.2	286.7	342.1	381.8	407.9	410.1	395.3	299.8
第1・四分位数 (千円)	187.3	157.3	180.6	203.7	223.3	233.1	231.2	218.6	202.1	147.3
中位数 (千円)	230.0	175.2	203.7	234.9	266.6	289.9	298.6	289.9	269.4	186.1
第3・四分位数 (千円)	299.8	196.2	231.6	273.8	323.0	360.4	383.9	387.3	369.7	245.3
第9・十分位数 (千円)	401.2	220.4	265.9	321.9	392.1	447.0	484.4	498.9	486.1	350.4
十分位分散係数	521.0	248.4	307.0	379.8	474.6	547.2	604.2	624.0	614.3	527.6
四分位分散係数	0.56	0.23	0.27	0.32	0.39	0.44	0.49	0.52	0.56	0.78
	0.29	0.12	0.13	0.16	0.19	0.22	0.24	0.27	0.29	0.34

(注) 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、全労働者の所定の何番目に該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、次の算式により計算された数値をいう。その値が小さいほど分布の広がり（分散）の程度が小さいことを示す。

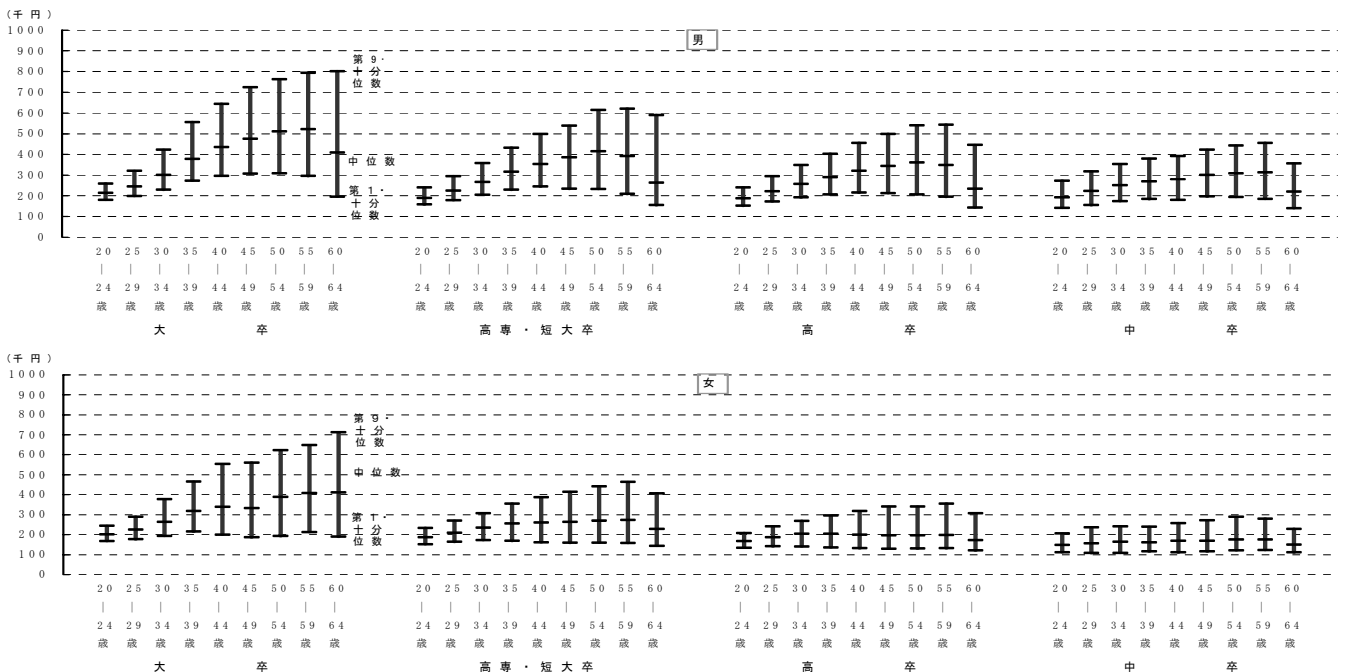
○ 十分位分散係数 =
$$\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

○ 四分位分散係数 =
$$\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

第10表 性、賃金階級、年齢階級別労働者数割合（産業計、企業規模計）（続き）

賃金階級	女									
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9 (千円)	0.9	0.4	0.3	0.6	1.1	1.3	1.2	1.3	1.2	2.4
100.0～119.9	2.5	1.3	1.1	1.5	2.0	2.7	3.5	3.9	4.0	8.0
120.0～139.9	6.0	5.6	3.1	3.4	4.4	5.7	7.4	8.1	8.6	17.0
140.0～159.9	10.2	14.7	7.2	5.9	7.8	9.4	10.1	11.4	12.1	15.5
160.0～179.9	12.9	24.9	13.6	8.2	8.3	9.8	10.6	10.9	11.5	12.1
180.0～199.9	13.3	23.4	18.1	11.3	8.7	9.3	9.2	9.9	10.5	10.1
200.0～219.9	11.9	14.8	18.5	13.6	9.1	8.0	8.8	8.8	8.4	6.9
220.0～239.9	10.1	8.4	15.1	15.3	10.2	7.8	7.2	7.2	6.6	4.3
240.0～259.9	7.7	3.2	9.7	12.7	10.2	7.6	6.0	5.9	6.4	3.9
260.0～279.9	5.8	1.8	5.9	9.9	8.5	6.9	5.7	5.0	4.8	3.4
280.0～299.9	4.1	0.6	2.9	5.7	7.4	6.1	4.9	4.2	4.2	2.6
300.0～319.9	3.3	0.4	1.9	4.4	5.5	5.0	4.5	4.0	3.8	1.9
320.0～359.9	4.4	0.3	1.3	4.2	7.8	8.1	6.9	6.6	5.2	3.5
360.0～399.9	2.4	0.1	0.5	1.3	4.0	5.1	4.9	3.7	3.9	2.0
400.0～449.9	1.8	0.0	0.3	0.9	2.5	3.2	3.9	3.5	2.9	2.2
450.0～499.9	1.0	0.0	0.1	0.5	1.1	1.7	2.2	2.2	2.0	1.2
500.0～599.9	0.9	-	0.1	0.3	0.7	1.2	1.7	2.3	2.3	1.6
600.0～699.9	0.4	-	0.0	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.8	0.8
700.0～799.9	0.2	-	-	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.5
800.0～	0.2	-	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2
平均値 (千円)	225.6	185.5	211.1	232.6	247.7	248.9	247.0	240.2	237.1	206.2
第1・十分位数 (千円)	141.2	144.3	156.1	155.9	147.1	140.8	134.7	133.0	132.3	119.2
第1・四分位数 (千円)	168.6	162.5	179.5	190.2	183.4	172.0	164.9	160.4	158.4	137.5
中位数 (千円)	206.6	182.4	206.7	226.7	236.9	230.1	217.7	209.2	204.2	171.7
第3・四分位数 (千円)	258.5	205.5	237.0	265.0	292.4	301.8	301.4	290.8	283.0	234.4
第9・十分位数 (千円)	329.0	229.8	269.8	308.5	354.9	376.8	391.7	387.8	383.0	341.7
十分位分散係数	0.45	0.23	0.28	0.34	0.44	0.51	0.59	0.61	0.61	0.65
四分位分散係数	0.22	0.12	0.14	0.16	0.23	0.28	0.31	0.31	0.30	0.28

第9図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数（産業計、企業規模計）



(注) 第10表(注)1)参照。

(9) 標準労働者の賃金

標準労働者について、学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大卒及び高卒が55～59歳でそれぞれ599, 800円、477, 900円、高専・短大卒が50～54歳で535, 300円となっている。

女では、各学歴とも55～59歳で大卒が528, 900円、高専・短大卒が408, 400円、高卒が367, 300円となっている。(第11表、第6図)

年齢階級間の賃金格差(20～24歳の賃金=100)を学歴別にみると、男は、大卒及び高卒では賃金のピークとなる55～59歳で、それぞれ276、247、高専・短大卒では賃金のピークとなる50～54歳で277となっている。

女は、各学歴の賃金がピークとなる55～59歳で、大卒が259、高専・短大卒が221、高卒が214となっている。(第12表)

年齢階級別に男女間の賃金格差(男=100)をみると、おおむね学歴が高くなるほど格差が小さくなっている(第13表)。

第11表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率(産業計、企業規模計)

性、年齢階級 (歳)	大 卒			高専・短大卒			高 卒			
	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	
	平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16		
男	計	391.2	394.4	0.8	295.3	296.7	0.5	331.7	330.8	-0.3
	20～24	220.1	217.2	-1.3	192.6	193.3	0.4	194.9	193.8	-0.6
	25～29	258.0	257.6	-0.2	236.2	235.7	-0.2	236.1	234.5	-0.7
	30～34	334.2	326.8	-2.2	287.2	281.6	-1.9	279.9	278.0	-0.7
	35～39	409.4	413.0	0.9	343.6	341.9	-0.5	333.0	331.5	-0.5
	40～44	479.5	476.0	-0.7	420.2	408.1	-2.9	380.9	380.6	-0.1
	45～49	536.2	533.0	-0.6	480.9	462.6	-3.8	437.4	430.7	-1.5
	50～54	589.3	585.5	-0.6	532.0	535.3	0.6	476.3	472.3	-0.8
	55～59	604.8	599.8	-0.8	548.1	522.1	-4.7	489.8	477.9	-2.4
女	計	253.8	250.9	-1.1	225.2	226.2	0.4	220.3	221.9	0.7
	20～24	204.7	204.2	-0.2	184.7	184.8	0.1	174.7	171.7	-1.7
	25～29	235.8	229.7	-2.6	215.3	212.3	-1.4	201.9	198.5	-1.7
	30～34	290.1	282.6	-2.6	246.3	249.0	1.1	228.8	226.9	-0.8
	35～39	353.6	337.0	-4.7	289.1	286.3	-1.0	257.8	255.6	-0.9
	40～44	412.7	402.8	-2.4	335.1	331.6	-1.0	293.0	288.7	-1.5
	45～49	450.1	427.5	-5.0	380.4	365.3	-4.0	322.6	323.7	0.3
	50～54	504.5	514.0	1.9	382.2	406.6	6.4	347.0	340.8	-1.8
	55～59	550.3	528.9	-3.9	417.2	408.4	-2.1	363.4	367.3	1.1

(注) 標準労働者の年齢階級区分の計の数値には、上掲の年齢階級のほか、20歳未満及び60歳以上の者を含む。以下同じ。

第12表 標準労働者の学歴、性別年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

(20～24歳=100)

性、年齢階級 (歳)	大卒				高専・短大卒				高卒				
	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16	
男	計	176	180	178	182	133	144	153	153	165	168	170	171
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	120	121	117	119	124	122	123	122	125	120	121	121
	30～34	155	155	152	150	154	151	149	146	149	147	144	143
	35～39	187	191	186	190	186	184	178	177	180	173	171	171
	40～44	230	222	218	219	232	218	218	211	209	203	195	196
	45～49	267	262	244	245	249	264	250	239	246	230	224	222
	50～54	305	290	268	270	273	275	276	277	278	261	244	244
	55～59	313	302	275	276	260	289	285	270	269	268	251	247
女	計	117	121	124	123	109	116	122	122	112	121	126	129
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	115	114	115	112	117	118	117	115	116	115	116	116
	30～34	140	143	142	138	139	137	133	135	135	132	131	132
	35～39	165	173	173	165	160	163	157	155	155	151	148	149
	40～44	198	196	202	197	187	187	181	179	174	172	168	168
	45～49	221	223	220	209	193	205	206	198	196	190	185	189
	50～54	259	245	246	252	228	213	207	220	219	214	199	198
	55～59	263	271	269	259	279	213	226	221	209	221	208	214

第13表 標準労働者の学歴、年齢階級別男女間賃金格差（産業計、企業規模計）

(男=100)

年齢階級 (歳)	大卒			高専・短大卒			高卒		
	平成11年	15	16	平成11年	15	16	平成11年	15	16
20～24	95	93	94	93	96	96	89	90	89
25～29	90	91	89	90	91	90	86	86	85
30～34	88	87	86	85	86	88	80	82	82
35～39	86	86	82	83	84	84	78	77	77
40～44	84	86	85	80	80	81	75	77	76
45～49	81	84	80	72	79	79	74	74	75
50～54	80	86	88	72	72	76	73	73	72
55～59	86	91	88	68	76	78	74	74	77

2 パートタイム労働者の賃金

(1) 賃金、対前年比

パートタイム労働者の1時間当たり賃金は、男1,012円、女904円、対前年増減率は、男0.9%増、女1.2%増となっている(第14表、第7図)。

賃金を年齢階級別にみると、男は30歳以上で1,100円前後となっている。女は25～29歳で949円と高くなっているが、25歳以上でおおむね900円台となっている(第15表、第8図)。

なお、労働者構成を年齢階級別(年齢計=100)にみると、男では、29歳以下で全体の49.6%を占めるとともに、60歳以上で23.9%を占めている。女では、40～59歳で全体の53.2%を占めている。(第16表)

第14表 パートタイム労働者の性別1時間当たり賃金及び
対前年増減率の推移(産業計、企業規模計)

年	男		女	
	1時間当たり賃金 (円)	対前年増減率 (%)	1時間当たり賃金 (円)	対前年増減率 (%)
平成 元年	855	1.5	662	3.1
2	944	10.4	712	7.6
3	1,023	8.4	770	8.1
4	1,053	2.9	809	5.1
5	1,046	-0.7	832	2.8
6	1,037	-0.9	848	1.9
7	1,061	2.3	854	0.7
8	1,071	0.9	870	1.9
9	1,037	-3.2	871	0.1
10	1,040	0.3	886	1.7
11	1,025	-1.4	887	0.1
12	1,026	0.1	889	0.2
13	1,029	0.3	890	0.1
14	991	-3.7	891	0.1
15	1,003	1.2	893	0.2
16	1,012	0.9	904	1.2

第15表 パートタイム労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金
(産業計、企業規模計)

(単位:円)

年齢階級 (歳)	男		女	
	平成15年	16	平成15年	16
計	1,003	1,012	893	904
18～19	837	831	814	827
20～24	922	915	890	888
25～29	1,024	1,020	929	949
30～34	1,057	1,114	920	928
35～39	1,138	1,111	908	912
40～44	1,140	1,137	886	902
45～49	1,144	1,097	894	899
50～54	1,147	1,131	895	907
55～59	1,125	1,107	904	908
60～64	1,090	1,121	892	909
平均年齢(歳)	38.3	38.5	43.3	43.6

第16表 パートタイム労働者構成比（産業計、企業規模計）

（単位：％）

年齢階級 (歳)	年齢階級別構成比 (年齢計=100)				男女別構成比 (男女計=100)			
	男		女		平成15年		平成16年	
	平成15年	16	平成15年	16	男	女	男	女
計	100.0	100.0	100.0	100.0	20.3	79.7	21.6	78.4
～17	4.6	4.2	1.8	1.5	40.3	59.7	42.9	57.1
18～19	10.3	9.8	3.7	3.3	41.3	58.7	45.1	54.9
20～24	26.5	25.2	7.9	7.9	46.0	54.0	46.7	53.3
25～29	9.6	10.4	6.5	6.8	27.2	72.8	29.7	70.3
30～34	5.5	6.3	7.8	8.0	15.1	84.9	17.9	82.1
35～39	3.4	3.7	9.2	9.5	8.7	91.3	9.7	90.3
40～44	2.8	2.8	12.2	11.7	5.5	94.5	6.3	93.7
45～49	3.2	3.7	14.1	13.7	5.4	94.6	7.0	93.0
50～54	4.4	4.5	16.6	15.3	6.3	93.7	7.5	92.5
55～59	4.7	5.4	11.4	12.5	9.6	90.4	10.7	89.3
60～64	12.7	12.3	5.7	6.4	36.1	63.9	34.6	65.4
65～	12.2	11.6	2.9	3.2	51.3	48.7	49.9	50.1

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たりの賃金をみると、男では、大企業が944円（対前年増減率2.0%減）、中企業が1,042円（同1.8%増）、小企業が1,039円（同2.2%増）となっており、大企業より中企業及び小企業が高くなっている。

女では、大企業が904円（対前年増減率1.0%減）、中企業が908円（同0.8%増）、小企業が901円（同3.8%増）となっており、企業規模間格差は小さい。（第17表）

第17表 パートタイム労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差（産業計）

性、企業規模		1時間当たり賃金 (円)				対前年増減率 (%)		賃金格差 (大企業=100)			
		平成6年	11	15	16	平成15年	16	平成6年	11	15	16
男	大企業	964	967	963	944	-0.2	-2.0	100	100	100	100
	中企業	1,086	1,037	1,024	1,042	0.7	1.8	113	107	106	110
	小企業	1,041	1,055	1,017	1,039	2.3	2.2	108	109	106	110
女	大企業	886	909	913	904	-0.2	-1.0	100	100	100	100
	中企業	849	897	901	908	-0.6	0.8	96	99	99	100
	小企業	824	860	868	901	1.5	3.8	93	95	95	100

(3) 産業別にみた賃金

パートタイム労働者全体の8割以上を占める製造業、卸売・小売業、飲食店、宿泊業、サービス業（他に分類されないもの）について、1時間当たりの賃金をみると、男では、製造業及びサービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超えているのに対し、卸売・小売業が900円台、飲食店、宿泊業が800円台となっている。

女では、サービス業（他に分類されないもの）が900円台、他の産業が800円台となっている。

これを前年と比較してみると、男では、卸売・小売業及びサービス業（他に分類されないもの）で上回り、製造業及び飲食店、宿泊業で下回っているのに対し、女では、各産業とも上回っている。（第18表）

第18表 パートタイム労働者の産業、性別1時間当たり賃金及び対前年増減率（企業規模計）

産 業	男			女		
	1時間当たり賃金（円）		対前年 増減率（%）	1時間当たり賃金（円）		対前年 増減率（%）
	平成15年	16		平成15年	16	
製 造 業	1,043	1,038	-0.5	830	833	0.4
卸 売 ・ 小 売 業	902	956	6.0	860	875	1.7
飲 食 店 ， 宿 泊 業	903	883	-2.2	860	867	0.8
サ ー ビ ス 業 （他に分類されないもの）	1,040	1,055	1.4	949	952	0.3

（注）平成15年の数値は、日本標準産業分類（平成14年3月改訂）に基づき再集計したものであり、改訂前の日本標準産業分類に基づき集計した平成16年3月発表のものとは異なる。

(4) 実労働日数、所定内実労働時間数、勤続年数

実労働日数（平成16年6月）をみると、男では17.6日、女では19.0日、1日当たりの所定内実労働時間数をみると、男では5.8時間、女では5.5時間、勤続年数をみると、男では、3.6年、女では5.1年となっている（第19表）。

第19表 パートタイム労働者の性別実労働日数、1日当たり所定内実労働時間数及び勤続年数の推移（産業計、企業規模計）

項 目	男				女			
	平成6年	11	15	16	平成6年	11	15	16
実労働日数（日）	18.1	17.3	17.2	17.6	20.3	19.4	19.1	19.0
1日当たり所定内実労働時間数（時間）	5.9	5.9	5.9	5.8	5.7	5.5	5.5	5.5
勤続年数（年）	3.0	2.9	3.2	3.6	4.9	4.9	5.1	5.1

3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

ア 平成16年の初任給を高卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大卒	195,000円	(対前年増減率-1.6%)
	高専・短大卒	166,300円	(〃 0.6%)
	高卒	152,600円	(〃 -0.2%)
男	大卒	198,300円	(〃 -1.5%)
	高専・短大卒	170,700円	(〃 0.5%)
	高卒	156,100円	(〃 -0.9%)
女	大卒	189,500円	(〃 -1.6%)
	高専・短大卒	164,200円	(〃 0.4%)
	高卒	147,200円	(〃 0.1%)

男女計では、高専・短大卒を除き、大卒、高卒ともに前年を下回っている。

これを男女別にみると、大卒では、男女とも前年を大きく下回り、平成14年の水準に戻っている。高専・短大卒では、男女とも前年を上回っている。高卒では、男は前年を下回り、女はわずかながら前年を上回っている。(第20表、第21表、第10図)

第20表 性、学歴別初任給額の推移(産業計、企業規模計)

(単位：千円)

性	大卒					高専・短大卒					高卒				
	平成12	13	14	15	16	平成12	13	14	15	16	平成12	13	14	15	16
男女計	193.7 (-0.3)	195.1 (0.7)	195.1 (0.0)	198.1 (1.5)	195.0 (-1.6)	165.9 (0.6)	165.9 (0.0)	166.0 (0.1)	165.3 (-0.4)	166.3 (0.6)	153.1 (-0.3)	154.0 (0.6)	154.0 (0.0)	152.9 (-0.7)	152.6 (-0.2)
男	196.9	198.3	198.5	201.3	198.3	171.6	170.3	169.5	169.8	170.7	157.1	158.1	157.5	157.5	156.1
女	187.4	188.6	188.8	192.5	189.5	163.6	163.8	164.3	163.5	164.2	147.6	148.7	148.8	147.0	147.2

(注) 1 初任給額は、新規学卒採用者数による加重平均である(以下同じ)。
2 ()内は、対前年増減率(%)である。

第21表 性、学歴別初任給額の対前年増減率の推移(産業計、企業規模計)

(単位：%)

性、学歴	昭和52年	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	男	大卒	7.1	4.5	3.8	4.6	5.5	5.3	3.9	2.7	3.1	3.2	2.6	3.3	5.1	5.6	5.6	4.2	1.8	1.1	0.9	-0.5	0.4	0.8	0.6	0.2	0.7	0.1	1.4
	高専・短大卒	6.9	5.8	3.0	5.1	5.8	4.4	5.0	2.7	3.0	2.3	1.4	3.1	4.6	5.1	6.7	3.7	2.6	0.9	-0.9	1.0	1.3	-0.1	0.9	0.8	-0.8	-0.5	0.2	0.5
	高卒	6.5	4.9	3.1	4.7	6.0	5.1	2.7	2.4	3.1	2.9	2.3	1.9	4.4	5.9	5.9	4.1	2.7	2.1	0.1	0.3	1.0	0.3	0.7	-0.3	0.6	-0.4	0.0	-0.9
女	大卒	8.8	4.8	3.8	4.8	5.8	3.6	4.2	3.7	3.7	3.7	3.1	4.4	4.4	4.7	5.8	4.5	1.0	1.4	-0.3	-0.2	1.4	0.1	1.3	-0.7	0.6	0.1	2.0	-1.6
	高専・短大卒	6.9	4.7	2.5	4.7	5.3	4.2	2.6	3.0	3.5	3.0	1.8	2.5	4.7	4.9	6.1	4.0	2.1	1.3	0.6	0.0	1.4	0.5	0.2	0.9	0.1	0.3	-0.5	0.4
	高卒	6.8	4.6	3.3	4.3	5.4	4.7	2.6	3.0	3.1	2.2	1.5	3.4	4.0	6.5	5.7	4.7	2.1	2.2	-0.5	1.0	0.8	0.4	0.3	-0.5	0.7	0.1	-1.2	0.1

(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、男女計は、大卒では大企業（常用労働者1,000人以上）と中企業（同100～999人）が19万円台、小企業（同10～99人）が18万円台、高専・短大卒では各規模とも16万円台、高卒では各規模とも15万円台となっている。

これを男女別にみると、大卒では、男は各規模とも19万円台、女は大企業と中企業が19万円台、小企業が18万円台、高専・短大卒では、各規模とも男は17万円台、女は16万円台、高卒では、男は各規模とも15万円台、女は大企業が15万円台、中企業と小企業が14万円台となっている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）を男女計でみると、大卒では中企業100、小企業95、高専・短大卒では中企業100、小企業98、高卒では中企業、小企業とも97となっている。（第22表）

第22表 企業規模、性、学歴別初任給額及び対前年増減率、企業規模間格差の推移（産業計）

性、企業規模		大 卒					高専・短大卒					高 卒					
		平成12	13	14	15	16	平成12	13	14	15	16	平成12	13	14	15	16	
初任給額 (千円)	男女計	企業規模計	193.7	195.1	195.1	198.1	195.0	165.9	165.9	166.0	165.3	166.3	153.1	154.0	154.0	152.9	152.6
		大企業	195.2	196.5	197.0	198.5	197.1	165.5	165.5	167.6	166.8	168.2	155.0	156.6	155.6	155.9	156.8
		中企業	195.3	196.1	195.0	200.2	196.3	169.8	166.7	167.6	166.0	167.9	153.4	154.2	153.6	152.2	151.8
		小企業	187.6	188.7	189.2	192.2	187.9	162.8	165.4	163.9	164.1	164.5	151.7	152.3	153.8	152.5	151.8
	男	企業規模計	196.9	198.3	198.5	201.3	198.3	171.6	170.3	169.5	169.8	170.7	157.1	158.1	157.5	157.5	156.1
		大企業	199.0	200.0	201.3	201.5	199.9	173.6	172.4	174.6	173.0	174.1	156.1	158.4	157.8	158.0	159.3
		中企業	196.4	198.4	197.6	203.2	199.8	170.7	168.0	167.9	169.3	170.0	157.4	157.0	157.7	156.4	154.7
		小企業	193.7	192.6	192.7	195.4	190.9	171.9	171.9	168.7	169.0	170.0	157.3	159.2	157.3	158.3	156.0
	女	企業規模計	187.4	188.6	188.8	192.5	189.5	163.6	163.8	164.3	163.5	164.2	147.6	148.7	148.8	147.0	147.2
		大企業	187.1	188.7	189.4	192.3	191.8	163.3	162.9	164.4	164.2	164.4	153.3	153.1	151.5	152.0	151.0
		中企業	192.8	191.1	189.9	194.9	190.5	169.2	165.9	167.4	164.4	166.6	148.9	151.0	148.3	147.9	148.1
		小企業	178.7	183.4	184.0	187.3	183.9	159.4	162.4	161.9	162.6	162.6	143.1	143.4	148.5	143.3	144.3
対前年増減率 (%)	男女計	企業規模計	-0.3	0.7	0.0	1.5	-1.6	0.6	0.0	0.1	-0.4	0.6	-0.3	0.6	0.0	-0.7	-0.2
		大企業	0.6	0.7	0.3	0.8	-0.7	0.9	0.0	1.3	-0.5	0.8	-0.2	1.0	-0.6	0.2	0.6
		中企業	0.7	0.4	-0.6	2.7	-1.9	2.5	-1.8	0.5	-1.0	1.1	-0.2	0.5	-0.4	-0.9	-0.3
		小企業	-3.8	0.6	0.3	1.6	-2.2	-1.0	1.6	-0.9	0.1	0.2	-0.3	0.4	1.0	-0.8	-0.5
	男	企業規模計	0.2	0.7	0.1	1.4	-1.5	0.8	-0.8	-0.5	0.2	0.5	-0.3	0.6	-0.4	0.0	-0.9
		大企業	0.9	0.5	0.7	0.1	-0.8	0.7	-0.7	1.3	-0.9	0.6	-0.8	1.5	-0.4	0.1	0.8
		中企業	0.3	1.0	-0.4	2.8	-1.7	1.4	-1.6	-0.1	0.8	0.4	-0.1	-0.3	0.4	-0.8	-1.1
		小企業	-1.9	-0.6	0.1	1.4	-2.3	-0.1	0.0	-1.9	0.2	0.6	-0.4	1.2	-1.2	0.6	-1.5
	女	企業規模計	-0.7	0.6	0.1	2.0	-1.6	0.9	0.1	0.3	-0.5	0.4	-0.5	0.7	0.1	-1.2	0.1
		大企業	0.2	0.9	0.4	1.5	-0.3	1.4	-0.2	0.9	-0.1	0.1	0.9	-0.1	-1.0	0.3	-0.7
		中企業	1.7	-0.9	-0.6	2.6	-2.3	3.1	-2.0	0.9	-1.8	1.3	-0.5	1.4	-1.8	-0.3	0.1
		小企業	-6.3	2.6	0.3	1.8	-1.8	-1.1	1.9	-0.3	0.4	0.0	-0.5	0.2	3.6	-3.5	0.7
規模間格差	男女計	中企業	100	100	99	101	100	103	101	100	100	100	99	98	99	98	97
		小企業	96	96	96	97	95	98	100	98	98	98	98	97	99	98	97
	男	中企業	99	99	98	101	100	98	97	96	98	98	101	99	100	99	97
		小企業	97	96	96	97	95	99	100	97	98	98	101	101	100	100	98
女	中企業	103	101	100	101	99	104	102	102	100	101	97	99	98	97	98	
	小企業	96	97	97	97	96	98	100	98	99	99	93	94	98	94	96	

(注) 1 常用労働者1,000人以上を大企業、100～999人を中企業、10～99人を小企業としている。
2 規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、男女計の各学歴それぞれで最も高い産業は、大卒ではサービス業（他に分類されないもの）で203,500円、高専・短大卒では情報通信業で177,800円、高卒では建設業で161,500円となっている。一方、最も低いのは、大卒では医療、福祉で180,600円、高専・短大卒と高卒は金融・保険業で、それぞれ154,900円、142,400円となっている。

これを男女別にみると、男は、大卒ではサービス業（他に分類されないもの）で209,100円、高専・短大卒では情報通信業で179,800円、高卒では建設業で162,700円と最も高くなっている。女は、大卒と高専・短大卒では情報通信業が高く、それぞれ201,400円、174,900円、高卒ではサービス業（他に分類されないもの）で151,400円と最も高くなっている。一方、最も低いのは、男では、大卒と高卒が飲食店、宿泊業で162,500円となっており、女では、各学歴とも金融・保険業で、大卒178,300円、高専・短大卒152,400円、高卒139,900円となっている。（第23表）

第23表 産業、性、学歴別初任給額及び対前年増減率の推移（企業規模計）

性、産業	大 卒			高専・短大卒			高 卒			
	初任給額(千円)		対前年 増減率(%)	初任給額(千円)		対前年 増減率(%)	初任給額(千円)		対前年 増減率(%)	
	平成15年	16		平成15年	16		平成15年	16		
男	産業計	198.1	195.0	-1.6	165.3	166.3	0.6	152.9	152.6	-0.2
	建設業	196.6	193.2	-1.7	180.4	170.6	-5.4	160.3	161.5	0.7
	製造業	199.2	197.6	-0.8	166.5	167.1	0.4	154.0	153.4	-0.4
	情報通信業	203.3	202.6	-0.3	175.3	177.8	1.4	152.0	152.9	0.6
	運輸業	189.8	190.2	0.2	166.2	168.6	1.4	153.8	155.7	1.2
	卸売・小売業	204.3	196.3	-3.9	162.1	163.3	0.7	151.5	149.3	-1.5
	金融・保険業	183.4	185.0	0.9	151.3	154.9	2.4	147.5	142.4	-3.5
	飲食店、宿泊業	186.0	188.7	1.5	157.2	160.7	2.2	148.3	150.5	1.5
	医療、福祉	185.7	180.6	-2.7	166.8	166.6	-0.1	142.9	144.7	1.3
	教育、学習支援業	198.4	194.4	-2.0	169.0	169.0	0.0	* 144.1	* 151.6	...
サービス業 (他に分類されないもの)	198.4	203.5	2.6	162.7	169.3	4.1	157.2	152.2	-3.2	
男	産業計	201.3	198.3	-1.5	169.8	170.7	0.5	157.5	156.1	-0.9
	建設業	199.8	196.7	-1.6	183.5	172.1	-6.2	162.7	162.7	0.0
	製造業	201.0	199.5	-0.7	169.7	169.5	-0.1	156.6	155.7	-0.6
	情報通信業	204.2	203.1	-0.5	176.2	179.8	2.0	156.3	155.2	-0.7
	運輸業	192.1	195.1	1.6	171.0	167.9	-1.8	157.6	162.6	3.2
	卸売・小売業	206.1	196.6	-4.6	166.4	164.2	-1.3	155.5	152.9	-1.7
	金融・保険業	189.2	190.9	0.9	* 205.1	* 196.6	...	* 152.2	* 150.0	...
	飲食店、宿泊業	191.0	195.4	2.3	153.7	162.5	5.7	154.1	152.8	-0.8
	医療、福祉	187.5	179.7	-4.2	171.0	177.4	3.7	146.0	147.5	1.0
	教育、学習支援業	211.5	198.7	-6.1	* 177.1	* 168.1	...	* 179.3	* 153.7	...
サービス業 (他に分類されないもの)	202.9	209.1	3.1	165.9	177.5	7.0	164.3	152.8	-7.0	
女	産業計	192.5	189.5	-1.6	163.5	164.2	0.4	147.0	147.2	0.1
	建設業	184.5	183.2	-0.7	176.0	168.5	-4.3	141.1	* 148.1	...
	製造業	192.2	190.9	-0.7	162.5	163.8	0.8	147.8	147.7	-0.1
	情報通信業	201.6	201.4	-0.1	173.4	174.9	0.9	149.6	150.6	0.7
	運輸業	184.5	182.5	-1.1	162.9	169.1	3.8	147.5	146.6	-0.6
	卸売・小売業	201.0	196.0	-2.5	159.4	162.2	1.8	149.5	146.6	-1.9
	金融・保険業	177.3	178.3	0.6	150.3	152.4	1.4	146.9	139.9	-4.8
	飲食店、宿泊業	180.8	178.6	-1.2	159.0	158.5	-0.3	144.0	149.1	3.5
	医療、福祉	184.9	180.9	-2.2	166.3	164.7	-1.0	142.2	143.8	1.1
	教育、学習支援業	192.8	192.4	-0.2	168.6	169.1	0.3	* 141.4	* 146.7	...
サービス業 (他に分類されないもの)	191.0	193.6	1.4	160.6	163.3	1.7	149.6	151.4	1.2	

(注) 1 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業及び複合サービス事業を含む。
 2 「*」は、新規学卒採用者が少ないため、利用に際し注意を要する。よって、対前年増減率の算出をしていない。
 3 平成15年の数値は、日本標準産業分類(平成14年3月改訂)に基づき再集計したものであり、改訂前の日本標準産業分類に基づき集計した平成15年11月発表のものとは異なる。

(4) 初任給の分布

初任給の分布を男女別にみると、大卒では、男は19～20万円台に51.9%と集中し、女は17～20万円台に70.9%と広く分布している。高専・短大卒では、男女とも15～17万円台に、男は63.1%、女は59.0%、高卒では、男は15～16万円台で56.5%、女は14～15万円台で54.8%となっている。(第24表)

第24表 性、学歴、初任給額階級別新規学卒採用者数割合(産業計、企業規模計)

初任給額階級 千円	男			女			計		
	大卒	高専・短大卒	高卒	大卒	高専・短大卒	高卒	大卒	高専・短大卒	高卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～109.9			0.5			0.5			0.5
110.0～119.9			1.4			0.8			2.4
120.0～129.9		1.8	4.9		1.1	3.3		2.0	7.4
130.0～139.9		5.7	10.1		2.2	6.7		7.4	15.6
140.0～149.9	1.8	9.7	21.1	1.1	6.2	16.5	2.9	11.4	28.4
150.0～159.9	2.2	17.4	30.7	1.2	15.6	33.5	3.9	18.3	26.4
160.0～169.9	5.4	24.7	19.8	3.5	23.3	23.0	8.7	25.4	14.7
170.0～179.9	12.3	18.2	6.6	9.7	24.2	8.9	16.6	15.3	2.9
180.0～189.9	12.5	11.7	3.3	11.2	13.8	4.6	14.8	10.7	1.2
190.0～199.9	23.1	5.7	1.6	25.3	5.0	2.2	19.6	5.9	0.6
200.0～209.9	24.1	3.1		26.6	5.6		19.9	1.9	
210.0～219.9	8.0	1.1		9.2	1.2		6.0	1.1	
220.0～229.9	4.8	0.9		5.8	1.8		3.2	0.5	
230.0～239.9	2.6			2.6			2.5		
240.0～249.9	1.9			2.3			1.2		
250.0～259.9	0.6			0.8			0.4		
260.0～	0.7			0.8			0.4		
平均額(千円)	195.0	166.3	152.6	198.3	170.7	156.1	189.5	164.2	147.2
第1・十分位数(千円)	170.5	142.9	132.3	173.8	150.2	137.7	163.4	140.5	129.4
中位数(千円)	197.1	165.3	153.9	199.3	170.5	156.5	191.2	163.9	148.3
第9・十分位数(千円)	221.2	191.0	171.7	224.0	194.9	175.6	216.1	188.8	165.1
十分位分散係数	0.13	0.15	0.13	0.13	0.13	0.12	0.14	0.15	0.12

(注) 1 百分数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給額の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給額が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給額が第9・十分位数、低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目(真ん中)に該当する者の初任給額が中位数である。

2 十分位分散係数とは、次の算式により計算された数値をいう。
その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{○ 十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

